

むらの話題



村にオーケストラが やってきた

奈良交響楽団交流コンサート

3月15日、新十津川町にゆかりのある音楽家が参加して、奈良交響楽団の交流コンサートが体育文化センターで開かれました。

コンサートは、奈良交響楽団と新十津川町出身の石田倫依さんによるお話と音楽で綴る「くるみ割り人形」、また十津川村から北原猛志さん、中島宇規さん、赤坂正純さん、楠本祥子さんの4名の演奏家が奈良交響楽団の中に参加して交流演奏をするなど、聴衆は、情感たっぷりの美しい演奏にうっとり聴き入っていました。



玉置山の周辺に植樹を！

ボランティア植樹

十津川村林業研究会（事務局・奈良県林業指導事務所内）では、昨年に引き続き、3月5日、玉置山の周辺にボランティア植樹を行いました。

今年は、小川から玉置山に通じる京の谷線の熊谷の村有林にケヤキやトチなどを植林。ボランティアの人たちは、林業指導事務所の職員から山に植える方法を習ったあと心をこめて山肌に植樹しました。

あいにくの雨の中でしたが、村内外からたくさんの人たちに参加していただき、山に対する関心や理解が得られたように思います。

みんなで考えよう！ 誰もが住みよい地域を・・・

寝たきり予防シンポジウム



2月24日、役場住民ホールで約250名の参加者を集めて「寝たきり予防シンポジウム」が行われました。

このシンポジウムは、内吉野保健所と吉野保健所が主催したもので、住民同士で高齢化社会のあり方を考えようと開かれたものです。

最初に、十津川村健康づくり推進員が、家庭の介護環境に変化をつけていくという「ひとりぼっちじゃないよ」の健康劇、そして「親切な村づくり」をテーマに、岩永俊博さん（国立公衆衛生院行政学部長）、店野保健婦をコーディネーターに、「健康は、みんなで守らなければ・・・」「障害者にやさしい環境整備を・・・」など、5人による熱心な意見が交わされました。